

県・市力をあわせて住民要求実現へ 欠かせない石橋よしえ市議の議席



子どもの医療費助成を中卒まで広げるため、米子市にたいする党市議の追及と力をあわせ、全県での実現にふみだすよう県に迫り、実現できました。

いま、生活がきびしいときだからこそ、医療現場で働き、家族の介護にがんばってきた経験を生かし、いつも高齢者や介護をする家族の立場にたって相談に乗り、がんばる石橋よしえさんの議席は絶対に欠かせません。

私もいっしょにがんばります。

県議会議員 錦織陽子

不器用で泣き虫でがんこ 相手の話をしっかり受けとめれる人



高校生の時、司書だったよしえさんに読書の楽しさを教わりました。また、私の母が入院したときには、看護助手だったよしえさんの献身的な看護を受けて感激しました。

不器用で、泣き虫で、がんこ。でも、相手の話をしっかり受け止めて相談に乗り、解決のための筋道をたてて努力する、元気で明るいよしえさんです。

5年間の市議会議員としての経験を活かして、市民のしあわせのために、もっともって働いてほしいと切望しています。

米子医療生活協同組合健康増進部長 福嶋晴彦

明るい米子

2014年4月号外 TEL24-4811
日本共産党の見解をご紹介します。

いのち・暮らしが脅かされるいま、
ひきつづき市民のみなさんの
切実な声、しっかり受けとめ、
実現へ全力でがんばります。

子育て



「なかよし学級」に入れず、民間に預けています。でも、保育料が高いです。市と民間で差があるのは、納得できません…。」

- 市の責任で、学童保育を充実し、保護者負担の軽減を。
- 第1子から保育料を半額に。

くらし



消費税が上がり、年金は減る。介護保険料も上がり、いったいどうして暮らせというの!!

- 国保料1世帯1万円引き下げを。
- 介護保険料や利用料の負担軽減を。

原発



島根原発が近くで怖い。

- 再稼働反対、自然エネルギーの普及にがんばります。

買い物に行くのに、バス代が往復で1,000円を超える…。

まちづくり

- 循環バスの運用改善を。

安倍政権の暴走ストッパー

消費増税は中止して元に戻せ ■ TPPから撤退 ■ 「海外で戦争する国」づくり反対

介護と国保を毎議会で質問
冷たい市政に立ち向かう



日本共産党・市議会議員

石橋よしえ

1948年生まれ／米子西高卒／学校図書館、病院勤務後、09年から市議／資格：介護福祉士、図書館司書補／趣味：俳句、演劇鑑賞／特技：点訳／葭津1670-3 <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>



原発問題でシール投票を呼びかける

くらしの願いをとどけ、提案し行動してきました

石橋 よしえ



公会堂存続へ力をあわせ

私は、青春時代から文化活動にかかわってきました。1958年に建設された米子市公会堂は、市民の文化活動の中心として、米子市文化ホールに次いで県内2番目によく利用されているホールでした。

しかし、耐震調査の結果、大規模改修が必要と診断が出され、存廃問題に市長がはっきりした態度を示さないなか、市民団体とともに存続を求める運動にとりくみました。市議会でも存続の共同がひろがり、存続・改築を実現できたことは大きな喜びです。

「中学校給食」が実現へ 20年を超える運動と議会での追求が実る

「中学校給食実施」を求め、4年前の市議選の公約の柱にもして、ねばりつよく要求してきました。

箕蚊屋中学校では以前から給食を実施していることや「弁当」では成長期に必要な栄養がつかめきれないこと、「食教育」の意義などを訴えつづけ、ついに来年4月から実施となりました。

原発ゼロへ——毎議会で発言

米子から30kmの島根原発を再稼働させてはいけないと、2011年の3・11以来、私は毎議会で質問してきました。しかし、市長は「再稼働は国が審査」、エネルギー政策も「国が決める」というばかり。

福島原発事故はまだ収束にほど遠く、汚染も広がっています。原発は動かさず、ゼロにするため全力をつくしてがんばります。



内浜路線にも 車椅子を2台固定できるバスが走る

車椅子で作業所に通われる方から、「内浜路線にも車椅子2台が固定できるバスを走らせてほしい。仲間と同じバスに乗れないと仕事に間に合わない」と訴えがあり、市とバス会社にお問い合わせに行きました。障がい者団体からの要望もあり、こころよく検討していただき、実現しました。



ときどき、車椅子での乗り降りと、それを介助しておられる運転手さんを見かけると、とても嬉しくなります。



重い介護保険・国保の負担を軽く ——あきらめず、言いつづけます

米子市は、介護保険料が高いまち。しかし、利用できているのはお年寄りの2割。また、高い国民健康保険料が払えず、保険証をとりあげられた家庭が県下で一番多いまち——「命の沙汰も金次第」であってはなりません。

負担軽減の要求に冷たい市長ですが、あきらめません。安心して暮らしていける米子市へ、言いつづけます。

お年寄りの買い物の不便をなくしたい

地域に商店がなくなり、交通も不便で買い物にも困る——これはお年寄りだけの問題ではありません。米子の商業が栄えるかどうかにもかかわる問題です。

みんなの知恵と力をあつめ、公共交通と“買い物難民”解消にとりくみたい。

プロフィール

米子生まれの米子育ち

4人姉妹の長女として米子に生まれ、米子で育つ。

現在、夫と長男の3人で葭津にくらす。

母校・米子西高で 図書館司書 17年

学校図書館職員として、司書の待遇改善問題や演劇鑑賞運動を通し、社会や政治への関心を深める。

父の病気を機に医療・ 介護の現場にとびこむ

父が脳梗塞で倒れ、看護を通じて、看護助手として働く道にすすむ。夫の母の介護をしながら、米子市介護保険策定委員を10年つとめる。

市民に冷たい市政を変え たいと市議補選に立候補

2009年4月、市民に冷たい市政を変えたいと、市議補選に立候補し、議員に。